

BRAND NEW PRODUCTS

-新商品のご紹介-

激安XバナースタンドS



サイズはW600×H1600mm、片面印刷。屋内使用推奨です

折りたたんで、持ち運びも可!

印刷含めて、1台3960円(税込) ! 激安のXバナーSが新登場!

「大判プリントの達人」より、発色の良い布製(テトロンポンジ製)の“激安XバナースタンドS”をリリース。ハトメにフックを掛けるだけで、簡単に組み立て・設置ができます。また重量もわずか380gで、折りたたんでコンパクトに収納できますので、女性ひとりでもお取り扱いが可能。なお、屋内での使用を推奨しています。詳細はWebサイトにて。

ポスター印刷やバナー製作、バナースタンド製作ならおまかせ!

大判プリントの達人
LARGE FORMAT PRINT EXPERT

“大判プリントの達人”
で検索



<https://obanprint110.com>

SDGsピンバッジ

プラケース入りのSDGsピンバッジをリリース!

「ピンバッジの達人」より、「SDGsピンバッジ」をリリース。プラケース入りですので、贈答などにもオススメです。スタンプレス工法のソフトエナメル着色を採用し、エポキシ加工を施すことでツヤのある仕上がりとなっています。なお、1個から購入可能で、「10個セット」と「30個セット」の販売もしています。詳細は、Webサイトをご覧ください。



オリジナルのピンズ専門店。
小ロット10個から製作OK!
“ピンバッジの達人”で検索



<https://pintatsujin.com>

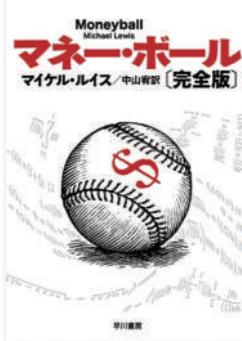


1個
660円
(税込)

サイズは直径25ミリ

社長オススメの
今月の1冊

マネー・ボール (完全版)



BOOK
DATA

早川書房(出版) /マイケル・ルイス(著) /中山 育(翻訳) /1034円(税込) ※文庫本
マネー・ボール 完全版 Amazon



編集後記

衝撃的な事件や事故に、新型コロナウイルス感染拡大など、世間は暗いニュースが目立ちますが、今月より第21期がスタートしたCRMは、これからも明るいニュースをお知らせしていきます。ま

ず、8月初旬にはCRM最大の社内行事である「経営計画発表会」が開催されます。こちらの模様は、次号9月号の特集でご紹介させていただきますので、どうぞ楽しみにお待ちください。(広報:田淵)

CRM
Customer Relationship Management

www.crm-net.com

■名古屋オフィス

愛知県名古屋市中村区名駅5-21-8 船入ビル2F・3F
TEL.052-446-5544(管理本部)

■PCセンター

名古屋市天白区植田南2-805
TEL.052-805-5611

■植田工場

名古屋市天白区植田南2-1403

■東京オフィス

東京都品川区東五反田1-21-9 ウィスタリア東五反田ビル9F
TEL.03-6420-0896

■栄生工場/TIEZ studio(タイズスタジオ)

名古屋市西区栄生3-2-19
TEL.052-526-0991(タイズスタジオ)

■植田第2工場(植田セカンド)

名古屋市天白区植田南2-1508

CRM NEWS LETTER

August 2022

Volume 48

8

2022年8月5日発行

SDGsの取り組み

ロシアによるウクライナ侵攻、世界各地で起こる気候変動、未だに終息しない新型コロナウイルス感染症、子供の貧困など、私達は数多くの課題に直面しています。このままでは、人類が安定して、この世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、2030年までに達成すべき具体的な目標を立てました。それが「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals:SDGs)」です。



株式会社シー・アール・エム

代表取締役

松村 祐輔

SDGsは、17のゴールとシンボルマークが象徴的ですが、前文には「Leave no one behind(誰一人取り残さない)」という誓いが述べられています。これは、まさに一人ひとりの人権を守ることを究極の目的として示したもので、17のゴールは、この目的を達成するために掲げられたわけです。

「人権」という言葉から、どんな印象を受けますか? “とても大切なことではあるけれども、なんだか堅苦しくて難しいこと”、それとも、“自分にはあまり関係ないかな”と思った人もいるかもしれません。法務省のホームページでは、「人権」とは、“すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利”と定義されています。これは、私達のミッションである「For Well-being」と高い親和性があります。

さらに17のゴールのテーマ3、「すべての人に健康と福祉を」を、SDGsの英語版では「Good health and Well-being」と表現されています。よって、「SDGs」と「人権」と「Well-being」には相互関係が成立します。

IBLIV(アイビリーブ)

今年の1月に障がい者アートグッズ(アート・ブリュットグッズ)を製造・販売するサービス、「IBLIV(アイビリーブ)」を立ち上げました。売上の一部を障がい者アーティストに還元する仕組みで、当社がWebサイトを運営しています。また、6月には企業のSDGsの活動を支援する目的で、法人向けサービスのページを作り、IBLIVを拡大リニューアルしました。今後は、IBLIVの活動を収益性のあるビジネスへと成長していくことがテーマになります。以前、「缶バッジの達人」で缶バッジ1個の受注で、1円を日本財團様を通じて、日本の貧困家庭に寄付をする活動を行い、累計260万円を超える寄付をしてきました。これも、とても社会的に価値の高いSDGsの活動ではありました。寄付したお金が具体的にどう使われているか、なにか形あるものに貢献できているのかの実感を持てずにいました。今回は、障がい者アーティストの著作権をマネジメントしています。障がい者アート協会様はじめとした施設・団体を通じて、障がい者アーティストの方々の活動を距離感の近いところで支援させていただくことになりました。

当社では、3名の障がい者に正社員として勤務してもらっています。これからも障がいの有無にかかわらず多様性を受け入れ、人権を尊重し、全社員が安心して働ける職場環境を築いていきます。今期の経営計画書には、「人とチームに関する方針」の中に「人権に対する考え方」を加えました。「人権を尊重する」ということは、すべての人が身体的・精神的・社会的な不自由さ、格差、差別のない状態を実現すること、さらには、「For Well-being」の実現に繋がっていくことだと思います。難解なテーマだと思いますが、共に理解を深めて、実践していきましょう。

追伸、おかげさまで、創業して20年が経過し、21期に入りました。

今期のテーマは、「新しい出発」という意味を込めて、「New beginning」です。21期も、どうぞよろしくお願いいたします。

